

国スポ・障スポ大会・観光振興対策特別委員会 県内行政調査

1 調査日 令和7年7月23日（木）

2 調査の概要

（1）次世代アスリート発掘育成プロジェクト（通称「滋賀レイキッズ」）を修了した現役学生選手との県民参画委員会（滋賀県庁本館第一委員会室）

次世代アスリート発掘育成プロジェクト（通称「滋賀レイキッズ」）は、2014年に滋賀県で国スポ・障スポ大会の開催が決定されたのを契機に、県内の小学5年生から運動能力に優れた子どもを見出し、様々な育成プログラムを実施することで、将来、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを輩出することを目的に開始された事業である。

現在、12期生が募集されており、同プロジェクトの修了生からは日本代表選手が選出されるなど、全国、世界で活躍する選手が数多く誕生している。

本年秋には、いよいよ国スポ・障スポ大会が開幕し、これまで本県が取り組んできた選手育成や競技力向上の取組が集大成を迎えるとともに、大会後には、これまでのレガシーを継承し、さらなるスポーツ振興に取り組んでいく必要がある。

ついては、滋賀県スポーツの将来を担う若い学生選手と、今後の本県の選手育成等について意見交換を行うため、県民参画委員会を開催した。



(2) 株式会社壱兵衛造船所（大津市今堅田）

株式会社壱兵衛造船所は、明治5（1872）年に滋賀県大津市で創業し、以来150年にわたり、琵琶湖の湖上交通を支えてきた滋賀県唯一の造船所である。

同社は、造船業だけにとどまらず、琵琶湖の新たな定期航路の運行、琵琶湖と船を活用した地域の人と人をつなぐ湖岸イベントやフェスティバルの開催など、地域の観光資源を活用した様々な取組を実施している。

ついては、今後の滋賀県の観光振興の取組の一つとして、湖上交通と観光誘客の新たな可能性を検討するため調査を行った。



(3) 公益社団法人びわこビジターズビューロー（大津市打出浜）

公益社団法人びわこビジターズビューローは、観光物産情報の発信、受入環境の整備、地域観光の活性化支援、観光人材の育成等による国内外からの誘客促進など、本県における観光プロモーションと誘客事業の中核を担う法人である。

滋賀県においては、本年開催の「国スポ・障スポ大会」、「大阪・関西万博」に続き、2026年には大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送、2028年にはJRグループ各社による「デスティネーションキャンペーン」が予定されるなど、観光誘客について絶好の機会を迎えている。

ついては、この大型イベント等が続く機会を最大限生かし誘客促進を図るため、滋賀県における観光プロモーションの取組状況等を調査した。

